

小林 奈穂

国際大学GLOCOM 主任研究員/研究プロデューサー

(経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 委員)

2000 年より、デジタル&リアルメディアを横断したデータドリブンなブランディング、コミュニケーション、クリエイティブ戦略企画・開発のプロデュースに携わる。

ネットイヤーグループ株式会社、株式会社デジタルパレット（現：電通アイソバー株式会社）、風とバラッド株式会社（現：カゼプロ株式会社）、富士ゼロックス株式会社等を経て、2015 年4 月より現職。

ベンチャー企業やクリエイティブエージェンシー、大企業に至る幅広い組織での業務経験を活かし、個人と組織の創造性に関する研究活動や、GLOCOM研究員の産学連携プロジェクトのマネジメント、GLOCOM 六本木会議の事務局長など、産官学民とともに社会の共通課題を導き、研究する各種活動の企画・プロデュースを行っている。



国際大学GLOCOMの取り組み

- デジタル時代の新たな社会システムを研究／実装
- 委託研究／共同研究などの事業収入に基づく運営
- GLOCOM=人と智のプラットフォーム
- 産官学民／学際／多世代が集う議論と交流の場
- 中立的な立場からの政策・社会提言活動



国際大学GLOCOMの取り組み

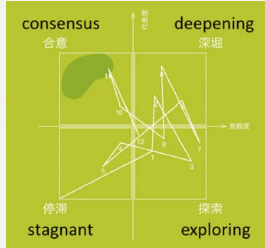
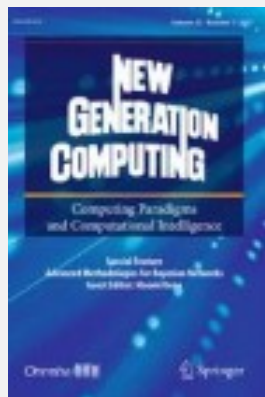
●委託研究／共同研究



株式会社イトーキ×国際大学GLOCOM

テキストデータを用いた
会議の時系列構造解析手法と状態遷移の可視化手法の研究

Okada, R., Nakanishi, T., Tanaka, Y. et al. A Time Series Structure Analysis Method of a Meeting Using Text Data and a Visualization Method of State Transitions. New Gener. Comput. 37, 113–137 (2019).



Google×国際大学GLOCOM Innovation Nippon

まちづくり、災害対応、フェイクニュース対処策など
毎年タイムリーなテーマを策定し、研究/発信/提言



マルチステークホルダー×国際大学GLOCOM 創造性研究

デジタル社会における創造性向上の要因を探索的に研究し
イノベティブな社会へと向かう情報を発信/提言

国際大学GLOCOMの取り組み

● 議論・交流の場の提供/政策・社会提言活動



情報通信分野において、次々と登場する革新的な技術や概念に適切に対処し、日本がスピード感を失わずに新しい社会に移行していくための議論の場を提供/政策提言を推進



GLOCOM六本木会議オンライン#1

接触確認アプリとはなにか～データ活用時代の新たな公衆衛生を考える～
(2020年6月13日開催)



2018年9月14日
サイバーセキュリティ分科会報告書を自由民主党IT戦略特命委員会 平井卓也委員長（当時、現 デジタル改革担当大臣）に手交



2018年1月23日
教育情報化のブレークスルー分科会報告書を柴山昌彦 文部科学大臣に手交

イノベーションエコシステムにおける大学の役割と 私たちひとりひとりの課題

未来ニーズの構想、共有

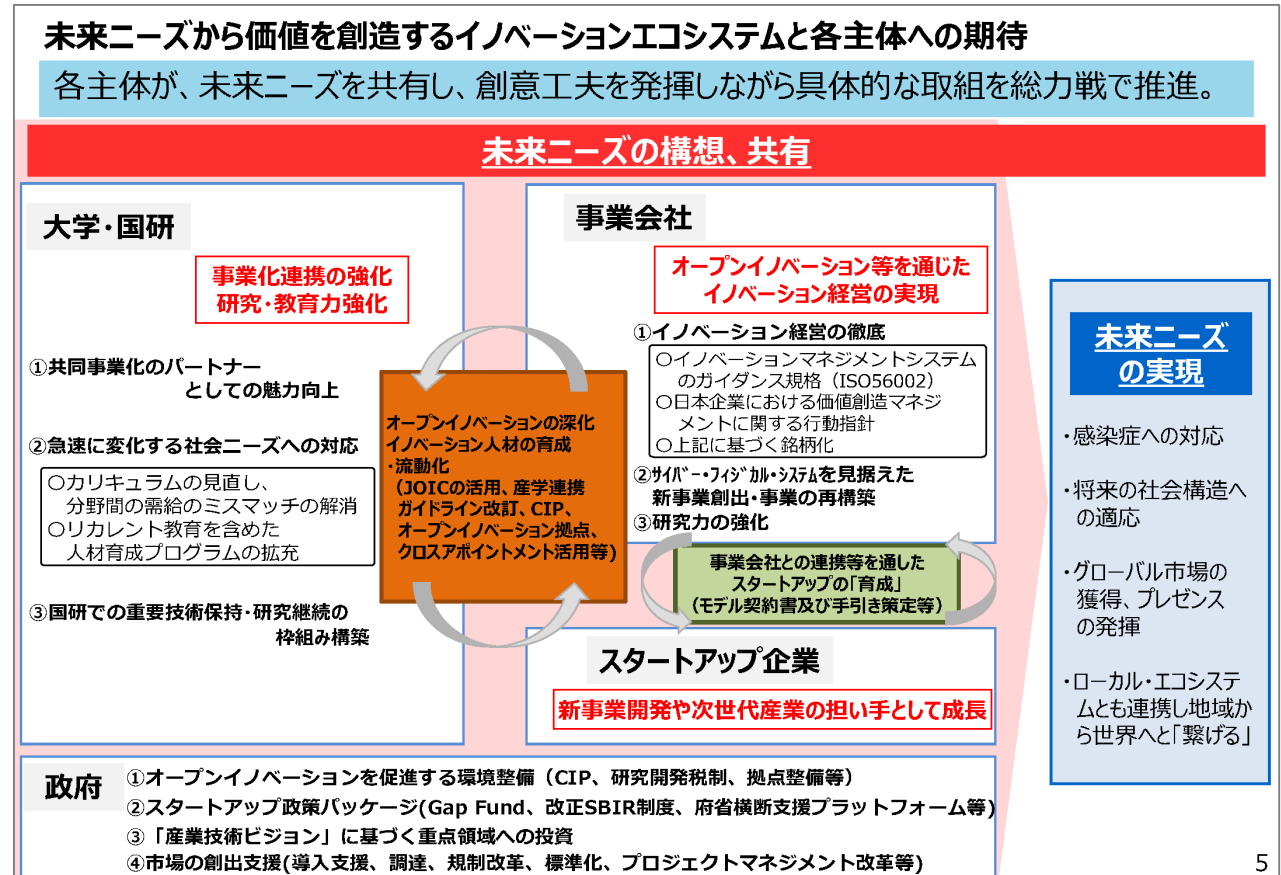
- ・ オープンイノベーションの深化
- ・ イノベーション人材の育成・流動化

個人の課題

越境型のコミュニケーションスキル育成
多様性のなかで独自性を発信できるか

ひらかれた「交流の場」が重要に

ひらかれた「大学」へ



出典：

「産業技術環境政策について」令和2年8月3日、経済産業省 産業技術環境局

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/pdf/009_02_00.pdf